



長大成人，進到完全

(以弗所書エペソ4:13)

週報

2024年3月24日

(第3076期)



宗教法人：東京中華基督教會

〒166-0003東京都杉並区高円寺南5-13-4

電話：(03)3312-1837 (教會)

<http://church.ne.jp/chinese>

「你們不可停止聚會、好像那些停止慣了的人、倒要彼此勸勉、既知道那日子
臨近、就更當如此。」 (希伯來書10章25節)

主日崇拜

| | | |
|------|---------------------------|------------|
| 讚美 | 第41首「あまつみつかいよ / 齊來頌讚」 | 會眾 |
| 禱告 | | 司會 |
| 朗讀 | 使徒信經 | 會眾 |
| 證道 | 受苦的僕人，以賽亞53:1-12 | 講員:劉 崎瑋 傳道 |
| | 苦しみのしもべ，イザヤ53:1-12 | 翻譯:楊 建榮 |
| 讚美 | 第95首「主の如くならまほし / 更像恩主」 | 會眾 |
| 奉獻 | 第127首「のぞみも消えゆくまでに / 數算主恩」 | 會眾 |
| 禱告 | | 劉 崎瑋 傳道 |
| 阿們 | 第1首「あめつちこそりて / 讚美真神」 | 會眾 |
| 報告介紹 | | 栗山 勉, 孫 盈盈 |

【教會週間定期聚會】

- 主日崇拜：每主日 10:30 - 12:00
(Zoom ID: 995 035 0116)
- 聖餐式：每月第2主日
- 晨禱會：每主日 9:30 - 10:15
- 晚禱會：每週二 20:00 - 20:30
- 午後學習會：每主日 12:30 - 14:00
- 日英文查經：每週三 19:00 - 20:30
(表參道・青山生涯學習館&LINE)
- 中文查經：每週五 19:50 - 21:00
(Zoom ID: 663 697 9476)
- 福音團契：每週六 17:30 - 19:30

【教會本年度的目標】

- 常常聚會、常常讀經
いつも集會に参加し、たえず聖書を読む

【本月背誦聖經章節】

凡屬基督耶穌的人，是已經把肉體連肉體的邪情私慾同釘在十字架上了。我們若是靠聖靈得生，就當靠聖靈行事。(加拉太書5:24-25)

キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。(ガラテヤ5:24-25)

【本週閱讀聖經章節】

- 3/25 : 希伯來書 9:1-10 & 王上 15:16-24
- 3/26 : 希伯來書 9:11-22 & 王上 15:25-34
- 3/27 : 希伯來書 9:23-29 & 王上 16:1-14
- 3/28 : 希伯來書 10:1-10 & 王上 16:15-34
- 3/29 : 希伯來書 10:11-18 & 王上 17:1-7
- 3/30 : 希伯來書 10:19-31 & 王上 17:8-16
- 3/31 : 希伯來書 10:32-39 & 王上 17:17-24

【證道提要】

受苦の僕人 以賽亞53:1-12

苦しみのしもべ イザヤ53:1-12

前言：

- 一、 祂遭受人們的藐視 (v. 1-3)
- v. 1 我們所傳的有誰信呢？耶和華的膀臂向誰顯露呢？
 - v. 2 他在耶和華面前生長如嫩芽，像根出於乾地。他無佳形容；我們看見他的時候，也無美貌使我們羨慕他。
 - v. 3 他被藐視，被人厭棄；多受痛苦，常經憂患。他被藐視，好像被人掩面不看的一樣；我們也不尊重他。
- 二、 祂為(替)我們受刑罰 (v. 4-6)
- v. 4 他誠然擔當我們的憂患，背負我們的痛苦；我們卻以為他受責罰，被神擊打苦待了。
 - v. 5 哪知他為我們的過犯受害，為我們的罪孽壓傷。因他受的刑罰，我們得平安；因他受的鞭傷，我們得醫治。
 - v. 6 我們都如羊走迷；各人偏行己路；耶和華使我們眾人的罪孽都歸在他身上。

- 三、 祂受不公平的刑罰 (v. 7-9)
- v. 7 他被欺壓，在受苦的時候卻不開口；他像羊羔被牽到宰殺之地，又像羊在剪毛的人手下無聲，他也是這樣不開口。
 - v. 8 因受欺壓和審判，他被奪去，至於他同世的人，誰想他受鞭打、從活人之地被剪除，是因我百姓的罪過呢？
 - v. 9 他雖然未行強暴，口中也沒有詭詐，人還使他與惡人同埋；誰知死的時候與財主同葬。
- 四、 祂使多人得稱為義 (v. 10-12)
- v. 10 耶和華卻定意（或譯：喜悅）將他壓傷，使他受痛苦。耶和華以他為贖罪祭。他必看見後裔，並且延長年日。耶和華所喜悅的事必在他手中亨通。
 - v. 11 他必看見自己勞苦的功效，便心滿意足。有許多人因認識我的義僕得稱為義；並且他要擔當他們的罪孽。
 - v. 12 所以，我要使他與位大的同分，與強盛的均分擄物。因為他將命傾倒，以致於死；他也被列在罪犯之中。他卻擔當多人的罪，又為罪犯代求。

結語：

序言：

- 一、 彼はから軽蔑されていた
- v. 1 私たちの聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕は、だれに現れたのか。
 - v. 2 彼は主の前に若枝のように芽ばえ、砂漠の地から出る根のように育った。彼には、私たちが見とれるような姿もなく、輝きもなく、私たちが慕うような見ばえもない。
 - v. 3 彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。
- 二、 彼は我の為に刑罰をうけた
- v. 4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。
 - v. 5 しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。
 - v. 6 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。

- 三、 彼は不当な刑罰をうけた
- v. 7 彼は痛めつけられた。彼は苦しんだが、口を開かない。ほふり場に引かれていく羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。
 - v. 8 しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことだろう。彼がわたしの民のそむきの罪のために打たれ、生ける者の地から絶たれたことを。
 - v. 9 彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。
- 四、 彼は多くの人を義に変えた
- v. 10 しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら、彼は未長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。
 - v. 11 彼は、自分のいのちの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を彼がになる。
 - v. 12 それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる。彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。彼は多くの人々の罪を負い、そむいた人たちのためにとりなしをする。

結語：